

# 次世代歯車、シャフトの開発



株式会社  
前田鉄工所

## 企業概要①

- ・ 自動車部品、農機部品、建機部品、  
工作機械部品など製造  
(トヨタ、レクサス、ホンダ、コマツ、  
ファナック、井関農機など向け)
- ・ 歯車、シャフト、バルブなどの部品  
を製造。
- ・ 創業64年目になる老舗部品メーカー



## 企業概要②

・ 独特な採用方法 コミュカゼロ採用を実施しており、人不足の世の中の状況にも関わらず、人員は新規の仕事に向けられる余裕がある状態。

・ Googleにて、コミュカゼロ採用、と検索いただくと弊社の記事が2つ程表示されます。短い記事と、インタビュー形式の長い記事がありますので、是非一度ご覧ください。



## 企業概要③

・前田鉄工所はコミュニケーション能力を求めない「コミユカゼロ採用」に取り組んでいる。自動車や建設機械、農業機械のトランスミッションとバルブなどの油圧部品を手がける同社では「口下手でも、コツコツと真面目に仕事に取り組む人材が大切」（前田基樹社長）だからだ。

きっかけは2014年ごろのこと。家業を継いだ前田社長は「コミュニケーションが得意でなくても、優秀な従業員が多い」ことに気付いた。誠実でひたむきに努力できる点とコミュニケーション能力は相関しないという。そこで15年、コミユカゼロ採用をはじめた。（日刊工業新聞より）

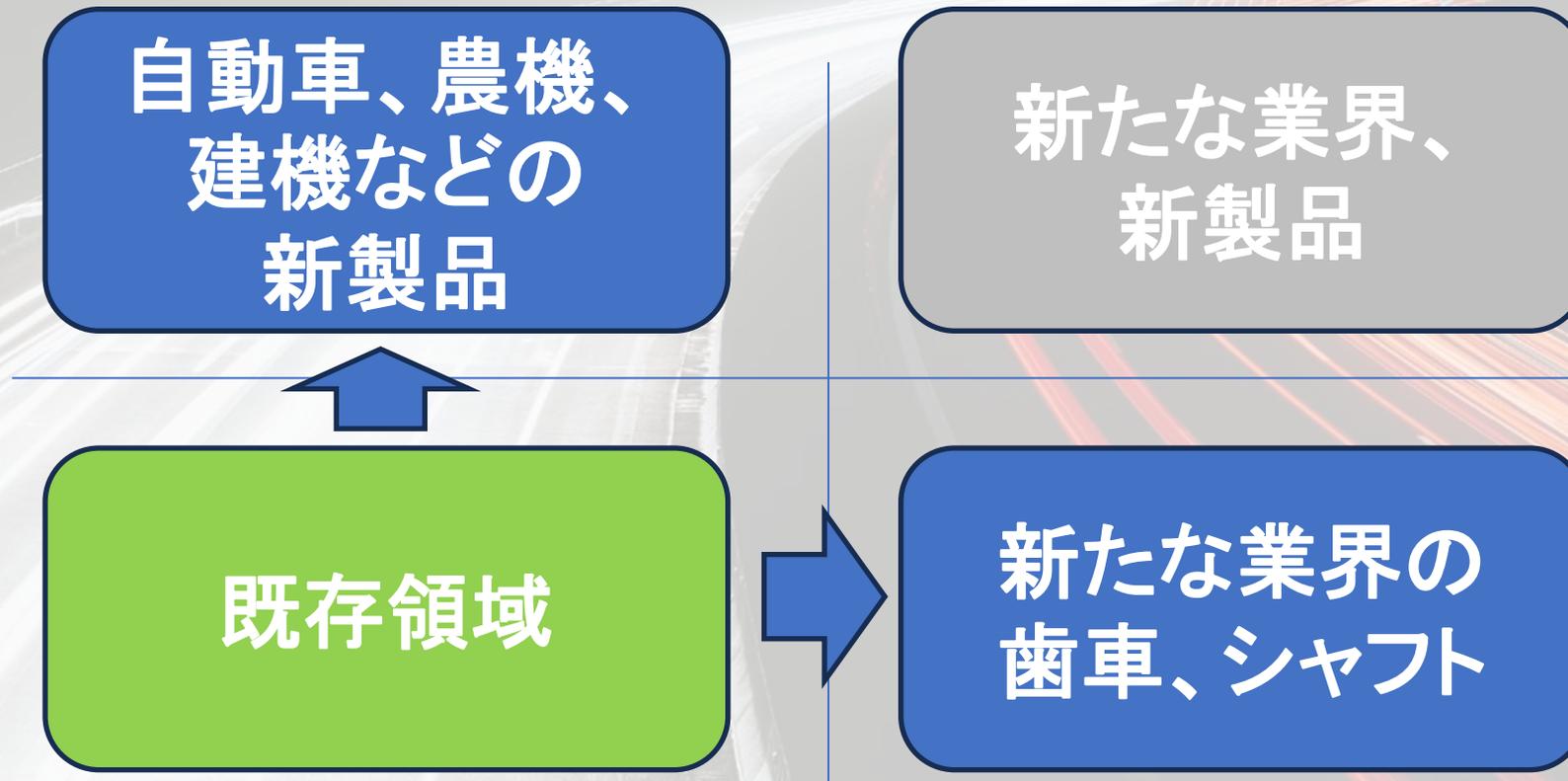


## プログラム参加の背景・課題

- ・ 高精度、高難度の次世代歯車、シャフトの開発をしていきたい
- ・ 既存の自動車部品量産技術を生かし、①他業種への展開や、②自動車でも経験がない部品に参入したい

# 新事業コンセプト

## 少し新しい周辺領域を開拓



# 新事業コンセプト

活かせる強みは以下3点

- ① 試作、開発段階から関与が可能なこと
- ② 少量のものでも、大量生産でもどちらでも対応可能なこと
- ③ 工程が長く対応が可能  
(材料調達から旋盤、マシニング、バリ取り、歯切り、熱処理、内径研磨まで。)



# 愛知自動車BCでの学びと足りなかったこと

---

## 学び

- ・企業としての学びとしては、PLの予測を数値化することで、危機感が醸成され、アクションが明確になってきた。

## 足りなかったこと

- ・方向性は定まってきたが、具体的な新規開拓に関する一連の動きに関しては、ヒントをあまりえられなかったので、今後は、昨年1年の取り組みを踏まえて、これを土台として、数値目標を実現できるよう、継続的にトライ&エラーを繰り返していきたいと考えています。

## 今後の展望

- ・ 新規パートナー探しを開始し、候補先のリストアップとコンタクトを開始  
(すでに何社かはコンタクトを始めています。)
- ・ 2025年までには、新規パートナーとの次世代歯車、シャフトの開発を開始したい
- ・ 2027年までには、全体の25%程度を新規ビジネスとしたい

2023

2024

2025

2026~

## 今求めている連携先

---

- ①自動車、農機、建機など既存業界のお客様となる企業様はもちろん
- ②自動車業界のトランスミッション分野以外で歯車、シャフト、旋盤技術を必要とされている企業様や、
- ③切削以外の、冷間鍛造や歯研などの周辺技術を持っているパートナーや、
- ③ロボット業界、半導体部品業界などの新業種のパートナーを探したいので、弊社にご興味ある方は是非一度お問合せください。